

病 院 開 設 事 前 協 議 書

(西神戸医療センター)

様式1

病院開設事前協議書

1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏名			医籍番号	
住所	TEL			
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区分	開設・管理・勤務		
	施設の種類	病院・診療所	病床数	一般精神結核床
	名称			
	所在地			
	診療科目			

(開設者が法人である場合)

法人の種類	地方独立行政法人	設立年月日	平成21年4月1日		
名称	地方独立行政法人神戸市民病院機構				
主たる事務所の所在地	神戸市中央区港島南町2丁目1番地の11 Tel.078-940-0156				
代表者	氏名	菊池 晴彦	住所		
法人の目的、事業	地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究並びに技術者の研修等の業務を行うことにより、市民の立場に立った質の高い医療を安全に提供し、もって市民の信頼に応え、市民の生命と健康を守ることを目的とする。				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名称	所在地	病床数	備考
	病院	神戸市立医療センター中央市民病院	神戸市中央区港島南町2丁目1番地の1	700床	
		神戸市立医療センター西市民病院	神戸市長田区1番町2丁目4番地	358床	
自己資本比率 (医療法人の場合)					

2. 開設しようとする病院の概要

(1) 基本的事項

名 称	神戸市立西神戸医療センター			
開 設 の 場 所	神戸市西区糞台5丁目7番地の1			
開 設 予 定 年 月	平成29年4月1日			
診 療 科 目	内科、神経内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、形成外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科			
病 床 数	475床 (一般425床・結核50床)			
特 色	神戸市西地域の中核病院として、救急医療、高度医療などを提供するとともに、市内唯一の結核病床を有する病院として引き続き公的役割を果たしていく。			
開設趣旨及び 病床数設定の考え方 ・ 提供する医療の内容 ・ 当該地域の医療事情 ・ 近隣医療機関との連携等	基準看護又は新看護の内容(予定)		一般病床7:1、結核病床10:1	
	療養病床設置の予定	有(床) <input checked="" type="radio"/> 無	老人特定許可の予定	
	規則第30条の32第1項の規定による特例	有(号床) <input checked="" type="radio"/> 無		
	神戸西地域の中核病院として高度医療・救急医療・結核医療を提供。神戸西地域の医療機関との連携を進めており、紹介・逆紹介を積極的に行ってきた。引き続き地域医療連携システムの参加医療機関との連絡協議会や合同カンファレンスも積極的に開催していく。			
敷地の状況	面積	21,508㎡		
	自己所有予定の場合	取得の状況	取得済・ <input checked="" type="radio"/> 取得交渉中・未交渉	
		交渉状況	現所有者である神戸市から、地方独立行政法人神戸市民病院機構へ平成29年4月1日出資を予定。	
	自己所有予定でない場合	所有者		
		使用形態	賃貸借・その他()	
他法令解除の必要性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 内容 []			
況 建物の状	構造概要	鉄骨鉄筋コンクリート造地上10階、地下1階建 他 延床面積41,848㎡		
	所有予定者	地方独立行政法人神戸市民病院機構 (神戸市から、平成29年4月1日出資予定)		

	自己所有予定でない場合の使用形態	賃貸借 ・ その他
状況 周囲の	交通機関	三宮より神戸市営地下鉄で30分 西神中央駅下車 徒歩5分
	近隣の状況	市営地下鉄西神中央駅、神戸市バス、神姫バスのターミナルに近接している。

(2) 施設及び構造施設に関する事項

法定施設	診察室	44ヶ所 665.0 m ² (科目 内科、神経内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、形成外科、放射線科、歯科口腔外科)		
	処置室	14ヶ所 1,022.6 m ² (科目 内科、外科等)		
	手術室	8ヶ所 354.5 m ²	臨床検査施設	3ヶ所 754.6 m ²
	エックス線装置	「一般X線撮影装置」 島津製作所 UD-150B-40 ×2台 SIEMENS 社 Ysio F ×2台 「乳房撮影装置」 HOLOGIC 社 Selenia Dimensions 「パノラマ撮影装置」 朝日レントゲン工業社 AUTOⅢNR 「X線TV装置」 島津製作所 UD-150B-40 日立製作所 DHF-158HⅢ (V) SIEMENS 社 AXIOM Luminos dRF 「移動式X線撮影装置」 日立製作所ヘルスカフ シリウス 130HP ×4台 日立製作所ヘルスカフ シリウス 125MX 日立製作所ヘルスカフ シリウス 80N 「X線CT装置」 東芝メディカルシステムズ TSX-301B 東芝メディカルシステムズ TSX-101A/EA 「血管造影撮影装置」 SIEMENS 社 AXIOM Artis TA SIEMENS 社 AXIOM Artis dBC 「外科用イメージ装置」 SIEMENS 社 SIREMOBL Compact L×2台 GE ヘルスカフ OEC FlexiView8800		

		島津製作所 WHA-200 「骨密度測定装置」 米国和シヅカ社 Discovery Wi型 「体外式衝撃波結石破碎装置」 トルニエムテックシステムズ リトリブター SII/EU		
	調 剤 所	3ヶ所 377.6 m ²	消 毒 施 設	2ヶ所 239.4 m ²
	給 食 施 設	2ヶ所 644.36 m ²	洗 濯 施 設	1ヶ所 117.1 m ²
	給 水 施 設	重力給水方式	暖 房 施 設	外気処理空調機・パッケ ージエアコン併用方式、 空調機方式
	汚物処理施設	22ヶ所 177.1 m ²		
	分 べ ん 室	2ヶ所 41.7 m ²	新生児の入浴施設	3ヶ所 19.4 m ²
	機 能 訓 練 室	1ヶ所 282.7 m ²	談 話 室	14ヶ所 97.5 m ²
	食 堂	9ヶ所 1,010.4 m ²	浴 室	14ヶ所 123.0 m ²
病 室	1床室	86室 1,232 m ²	2床室	2室 60.28 m ²
	3床室	8室 220.56 m ²	4床室	84室 3,095.38 m ²
	5床室	1室 35.15 m ²	6床室	2室 90.94 m ²
	8床室	1室 184.33 m ²		
その 他 の 施 設	「カンマカメラ装置」 島津製作所 PRISM-2000XP SIEMENS社 e.Cam 「放射線治療装置」 SIEMENS社 ONCOR Impression Plus 6MV 「MRI装置」 SIEMENS社 MAGNETOM Symphony 1.5T SIEMENS社 MAGNETOM Skyra 3T			
	階段、 エレベ ーター	室内直通階段	3ヶ所 幅 125 cm、蹴上げ 17.7 cm、踏面 26 cm	
		避 難 階 段	3ヶ所	エレベーター 12ヶ所
設 備	放 射 線 関 係	診療用エックス線装置	① (直接撮影装置、 間接撮影装置) ・ 無 透視装置、 CTスキャナー、 その他 (乳房撮影装置 等)	
		診療用高エネルギー放射線発生装置	① (直線加速装置、 ベータトロン、 (リニアック、 ライナック)、 その他 ()) ・ 無	
		診療用放射線照射装置	有 (⁶⁰ Co 照射装置、 ¹²³ I 骨成分分析装置、 その他 ()) ・ ②	
		診療用放射線照射器具	有 (管、 針、 球、 ビーズ、 板、 アプリケーター、 その他 ()、 使用核種 ()) ・ ②	
		診療用放射線同位元素	① ((使用核種) ^{99m} Tc、 ¹²³ I、 ⁶⁷ Ga、 ²⁰¹ Tl、 ^{81m} Kr、 ¹¹¹ In 等) ・ 無	

	臨床検査施設	化学検査、細菌検査、病理検査、生理機能検査等	消毒施設	オートクレーブ、ハイリット滅菌装置、ステラット
	消防用施設	スプリンクラー、補助散水栓、不活性化ガス、泡消火、連結送水管、消火器	防火施設	防火戸、防火シャッター、防火ダンパー
	その他の施設			

(3) 人員に関する事項

管理者	氏名	田中 修	医籍番号	
	住所			
	主たる経歴	昭和 53 年 3 月 神戸大学医学部卒業 平成 14 年 4 月 西神戸医療センター麻酔科部長 平成 23 年 4 月 西神戸医療センター副院長 平成 27 年 4 月 西神戸医療センター院長代行 平成 28 年 4 月 西神戸医療センター院長		

人 員 配 置 計 画							
職名	必要数	予定数	確保済人員	職名	必要数	予定数	確保済人員
医師	66		143	薬剤師	15		25
看護師	186		505	栄養士	1		6
准看護師				放射線技師			23
看護補助者				調理師			
臨床(衛生)検査技師			42	事務員			31
理学療法士			7	その他			27
作業療法士			3	計	268		812

※確保済み人員は、平成 28 年 4 月 1 日現在

(4) 人員算定根拠 (計算式)

1日平均入院患者数：403人 (一般 373人、結核 30人)

1日平均外来患者数：1,615人

外来取扱処方箋数 691 枚

職名	必要数	算定根拠
医師	66	$(403 + 1,615 / 2.5 - 52) / 16 + 3 \approx 65.31$
看護師	186	$30 / 4 + 373 / 3 \approx 131.83$ $1,615 / 30 \approx 53.83$ $132 + 54 = 186$
薬剤師	15	$403 / 70 + 691 / 75 \approx 15$
栄養士	1	病床数百以上の病院にあっては一

(5) 関係者との協議に関する事項

関係者	協議状況
地元医師会	別紙のとおり、ご承認いただきました。
市保健医療審議会 医療専門分科会	平成 28 年 7 月 13 日開催の医療専門分科会において、ご審議いただく予定
その他	神戸市保健福祉局へ説明済み

注) 地元医師会、医療専門分科会については、予防衛生課等が意見を聞き意見書等を添付すること。

神西医発第14号
平成28年6月24日

地方独立行政法人神戸市民病院機構
理事長 菊池晴彦様

神戸市西区医師会
会長 多田安



病院開設の事前協議について

平成28年6月21日付で依頼のありました、西神戸医療センターの開設の事前協議について、承認します。

市民病院となった後も、地域の医療機関との更なる連携を図りたい。

新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	神戸市立西神戸医療センター	所在地	神戸市西区糶台5丁目7番地の1		
電話番号	078-997-2200	二次医療圏域名	神戸圏域	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色（提供しようとする医療の内容）

(1) 医療の分野について（対象患者、診療科目等について）

急性期病院として高度医療・救急医療・結核医療を提供する。

診療科目：内科、神経内科、内分泌・糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、形成外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科口腔外科

(2) 医療の専門性について（設備・医療スタッフ等についても記入すること。）

国指定がん診療連携拠点病院として、がん診療の充実を図り、手術支援ロボットダヴィンチの導入、化学療法センターの拡充、がん相談支援センター及び患者ライブラリーの開設、疼痛緩和を目的とした緩和ケア内科の設置など、がん医療の充実を図る。また、急性期の虚血性心疾患、脳血管疾患などを中心に診断・治療体制を構築しているほか、結核医療においては、総合病院としての特徴を生かし、内科的・外科的な合併症を有する患者にも対応していく。

医師 143 名、看護師助産師 505 名他、総数 812 名の体制（平成 28 年 4 月 1 日現在）。

主な医療機器：内視鏡手術用支援機器システム（ダヴィンチ）、MRI 診断装置、シンチレーションカメラ、アンギオ（血管造影装置）、CT（コンピュータ断層撮影装置）、手術室用 X 線透視撮影装置、リニアック（放射線治療装置）、内視鏡 X 線テレビ透視撮影装置など

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区名
神戸圏域	神戸市（特に西地域の西区、垂水区、須磨区）

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

現在、神戸市西区には、一般病床を 200 床以上有する総合病院は存在せず、周辺に大規模な病院がない状態が続いていることから、平成 6 年の開院以降、当院は、神戸市西地域の中核病院と位置づけられてきた。さらに神戸市西地域のみならず、明石市・三木市・小野市など周辺自治体からの患者も多い。

なお、平成 25 年 10 月に北播磨総合センター（450 床）が開院したが、当院への影響は少ないと考えられる。

(3) 既存の医療機関について、(特に、提供しようとする医療が同じものについて)

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備考
神戸医療センター	304床	27科		
北播磨総合医療センター	450床	33科		

② 診療所の状況について

[—————]

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

神戸圏域の人口は、平成 28 年 4 月現在で 1,535,037 人、うち神戸市西地域 625,852 人(西区 245,055 人、須磨区 161,585 人、垂水区 219,212 人)となっており、一般病院数・病床数は平成 26 年末で全市 100 病院 15,851 床、うち神戸市西地域 29 病院・4,629 床(西区 11 病院・1,866 床、須磨区 12 病院・1,669 床、垂水区 6 病院・1,094 床)となっている。

当院の平成 27 年度の 1 日あたりの入院患者数は 403 人、外来患者数は 1,615 人であり、高齢化の進行や、がん患者数の増加などの影響もあり、今後の当院の患者数は 27 年度と同程度もしくは増加すると考えられる。

2. 医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

当院は、開院以来、いち早く、市民が適切な医療を身近な地域で受けられるよう、地域の医師会、歯科医師会とともに地域医療機関との連携を推進しており、平成 25 年 11 月には、地域医療支援病院の承認を受けている。少子高齢化社会の進行に際し、当院は急性期病院として高度医療を提供するとともに、地域の医療機関と緊密に連携し、相互に協力して地域完結型医療を推進していく。

また、国指定がん診療連携拠点病院として、今後一層がん医療の地域連携を推進し、地域におけるがん医療水準の向上を図る。

さらに、臨床研修指定病院として、臨床研修医及び専攻医の受入れに努め、優秀な医師の育成に貢献する。あわせて、看護職員や薬剤師など優れた専門職の確保・育成にも注力する。

(2) 医療機関との連携

医療機関名	内 容	具 体 例	医療機関名	内 容	具 体 例
神戸市内の大学 病院・公的病院 及び民間病院	①②③ ④⑤⑥ ⑦	各病院の特性に応じた患者の紹介及び逆紹介、カンファレンス等症例検討会の開催	神戸市内の各診療所	①②④ ⑤⑥⑦	

(注) 内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
 ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助
 ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
指定居宅介護支援事業者 (えがおの窓口)	患者が退院後でも必要なサービスを受けることができるよう調整	
障害者地域生活支援センター		
訪問看護ステーション	治療終了後も、何らかの支援が必要な患者に対して、退院後、安心して在宅で療養生活を送れるよう調整	
保健所等	検診後の要精査患者の受入れ、各種保健活動への講師派遣等医療情報提供支援	

(注) 医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設(老人関係、精神関係、身障関係)等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加(住民の健康管理等)

地域医療連携をさらに推進するため調査研究を進めるとともに、市民の理解・協力が得られるよう普及啓発を行う。

<具体例>

神戸西地域合同カンファレンスの開催、市民向け「身近な保健医療講座」の開催、市民向け「健康増進教室の開催」、病院ホームページやリーフレットなどでの市民への広報など

4. その他の特記事項

[—————]

損益的収支予算書 (総括)

(単位：千円)

	初年度 (29年4月～30年3月)	次年度 (30年4月～31年3月)	3年度 (31年4月～32年3月)	4年度 (32年4月～33年3月)	5年度 (33年4月～34年3月)
I 医業収益	14,726,720	14,726,720	14,730,637	14,705,013	14,683,306
II 医業費用	15,664,823	15,635,916	15,624,290	15,672,389	15,668,022
医業利益(医業損失)	△938,103	△909,196	△893,653	△967,376	△984,716
III 医業外収益	1,021,245	1,021,245	1,038,745	1,056,245	1,073,745
IV 医業外費用	72,761	74,423	76,085	77,571	78,883
経常利益(経常損失)	10,381	37,626	69,007	11,298	10,146
V 特別利益					
VI 特別損失					
税引前当期利益(税引前当期損失)	10,381	37,626	69,007	11,298	10,146
当期純利益(当期純損失)	10,381	37,626	69,007	11,298	10,146
前期繰越利益(前期繰越損失)	4,468,299	4,478,680	4,516,306	4,585,313	4,596,611
当期未処分利益(当期未処理損失)	4,478,680	4,516,306	4,585,313	4,596,611	4,606,757

資本的収支予算書

(単位：千円)

	初年度 (29年4月～30年3月)	次年度 (30年4月～31年3月)	3年度 (31年4月～32年3月)	4年度 (32年4月～33年3月)	5年度 (33年4月～34年3月)
資本的支出	建設改良費				
	借入金(元本)償還			35,000	70,000
	固定資産購入費その他	624,000	624,000	624,000	624,000
	計	624,000	624,000	659,000	694,000
財源内訳	内部資金			17,500	35,000
	借入金	624,000	624,000	624,000	624,000
	補助金			17,500	35,000
	その他				
計	624,000	624,000	659,000	694,000	
財源不足額	0	0	0	0	0